

キャラクター名
 神前 美華 (しんぜん みか)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー キュマイラ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	女
覚醒	忘却	衝動	飢餓	初期侵食率	31	%
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	初恋	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
リコリスの剣 (通常) 武器なし	白兵	10r+2	3	10		C値8
リコリスの剣 (通常) 武器有	白兵	10r+2	3	10		C値8
リコリスの剣 (60%)	白兵	11r+2	3	10		C値8
リコリスの剣 (80%)	白兵	12r+2	3	10		C値8

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
柳堂寺 文乃 (りゅうどうじ ぶんのみ)	P 友情	N 不安		
記憶の中にいる人	P 執着	N 偏愛		
兄弟姉妹たち	P 幸福感	N 不安		
桐谷 勇吾	P 憧憬	N 恐怖		
PC3 葉真林 佐門 (くりがね さもん)	P 信頼	N 不快感		
桐生	P 感服	N 不快感		
PC1	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
赫き剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: Lv×2 HP以下の消費+2が攻撃力								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 獲物に接近するエフェクト								
コンセントレイト (ブラムストーカー)	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv個 (下限7)								
ブラッドコントロール	4	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 判定ダイスLv個								
破壊の血	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 赫き剣との組み合わせで攻撃力+「Lv×2」ガード値+3HP-2								
始祖の血統	3	4	メジャー	-	-	-	100	
効果: 判定ダイスLv×2個 HP-3								
猫の目	★		常時	至近	自身	自動		
効果: 自分の感覚器官を暗闇を見通すことができるように変化させる								
ブラッドリーディング	★		メジャー	至近	単体	自動		
効果: 血や体液 (涙など) から情報を読み取るエフェクト。性別、年齢、その時抱いた感情を読み取ることができる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

* 経験は学生で回しました。UGNより学生のダイスのほうがやりたいことにピンとくるから

前世の記憶があった美華それははっきり覚えていた・・・大切な大事な想い人・・・それは恋?だったのかそれは今はもうわからないが・・・きっと恋?のようなものだった

UGNのチルドレンとしてたくさんの兄弟姉妹たちと訓練教育を受けていた時、美華は突然開花した
 今までは、シンドロームの能力も戦闘力も大した力もっていなかった・・・

何かと引き換えに開花してみたいだ・・・
 ピュアのブラムだったはず・・・がキュマイラが突然開花した
 美華はうれしかった、桐谷やほかの兄弟姉妹たちの助けになれると思ったからだ
 (UGNの研究員はそのような事案がないため、調べることに・・・)

でも何を引き換えに・・・?

あれ・・・?思いだせない・・・?何を・・・?
 この日記に書いている記憶?????なんのこと?私はこんなの知らない。記憶がない?いや?抜けている?
 ああ・・・そうなのか私は記憶を対価に開花したのか・・・

大切な人だった・・・心の支えだったのかもしれない記憶・・・
 あ、そうか取り戻せばいいのか